

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・展覧会を通して、全学年の児童作品を鑑賞する機会を設け、多様な表現を知ること、様々なイメージを想起することの面白さを体験できた。
- (中)・発想や制作途中の段階で、自分なりの意見や工夫を取り入れた作品を共有することで、豊かな発想や表現の工夫をしながら、展覧会の作品づくりに取り組めた。
- (高)・展覧会の作品づくりに取り組む中で、題材についての自分のイメージをもちながら、新たな発想や効果的な表現方法を考察し、計画的に作業を進めることができた。

(2) 課題

- (低)・用具（ハサミやのりなど）の適切な使い方を身に付ける。
- (中)・絵具の混色などの応用や安全な用具（玄翁や両刃のこぎり、彫刻刀などの）の技能を習得する。
- (高)・用途に合った用具や道具の使い分けや安全な電動糸のこぎりの技能を習得する。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すことができるようにする。	◎絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えることができるようにする。	・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができるようにする。	◎絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えることができるようにする。	・進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができるようにする。	◎絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ、用途を考えながら、どのように主題を表すかについて考えることができるようにする。	・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。